第 102号
3月定例会
令和5年4月20日

こんにちは 豊丘村議会です

青空の下、作業本番
桃の摘蕾作業
―田村原にて―
（詳細は27ページをご覧ください）

議会の審議 …… 2～9ページ
一般質問 …… 10～22ページ
委員会報告 …… 23～25ページ
広域連合議会等 …… 26ページ
春の風物詩 …… 27ページ
みんなのページ …… 28ページ

令和５年度当初予算一般会計47億8,800万円
国保・高齢者医療・介護特別会計及び水道・下水道会計
総額74億6,945万円

一人当たり116万円
住民の暮らしを
支えます

新型コロナウィルス感染症
5類引き下げで
経済・文化活動の回復を

村長選挙後の
新規事業に
予備費5千万円

タル化、将来の地域課題の視点で
中心に紹介します。

持続可能な暮らしと経済、少子化とデジ
予算審議において取り上げられた項目を
質疑は次のページをご覧ください。

（継続事業）
（新規事業）

持続可能な暮らしと経済

中山間地域活性化交付金（区へ）
一世帯15,000円　450万円

日赤奉仕団活動助成金
140万円

中山間地域直接支払事業交付金
12カ所636万円

用水路改修・
県営中山間地総合整備・
ため池排土補助
1億5485万円

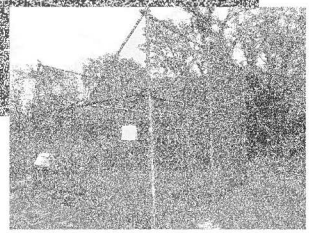
照明ＬＥＤ化
役場庁舎2F 1848万円
その他　南・北小学校
中学校
ゆめあるて
営農センターだいち
防犯灯

中学校周辺里山環境整備
500万円

重要インフラ施設保全森林整備
200万円

カラス駆除　檻設置
50万円

交通安全対策
カーブミラー設置等
292万円


カラス駆除檻の事例（鳥取市）

将来の地域課題

地域おこし協力隊
就農4人
観光振興2人
道の駅2人
3,864万円

少子化とデジタル化

コンビニで納税・住民票取得
155万円

マイナンバーカード
交付事務　235万円

出産祝金　1子10万円
50人分

産前・産後家事育児支援
30万円

フリースクール利用補助
12万円

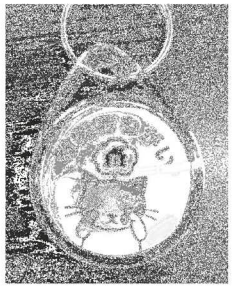
学校給食食材費保護者負担軽減
100万円

新しいゴミ分別ガイドブック
翻訳・アプリ　286万円

北の沢最終処分場の水処理
委託料　99万円

猫の繁殖制限手術補助　15万円
飼い猫登録　IDペンダント
1万8千円

松川町上片桐にある
フリースクール Hug


IDペンダント
飼い主の名前と
連絡先を明記し、
首輪につける

とよおか旅時間運営・観光振興事業
4,540万円
道の駅施設管理・運営　1,750万円
野田平キャンプ場維持管理　66万円
ゲストハウス維持管理　55万円

令和5年度　一般会計予算の質疑から

行政のデジタル化、持続可能な地域づくりを見据え
身近な課題に対応した諸事業を慎重審議

令和5年度当初予算案は、3月1日第1回定例会開会日に予算決算委員会に付託され、3月9日・10日の委員会で全委員の出席で審議しました。

村長選を控えた骨格予算ですが、効果的な行政運営のため、細かな事業量の調整や議会の提言を反映した新規の事業が盛り込まれ、すべての予算が全員一致で可決されました。一般会計の主な質疑を報告します。

豊丘村第6次振興計画の期間は令和6年から

問　土地利用計画策定作業が今年度も継続され、策定が1年遅れる。どこで決定されたか。

答　現行の土地利用計画を1年延長し、次期計画は6年から14年までの9年間に変更した。法改正で議会の議決は不要。

村の負担金は半額

コンビニ収納・交付

問　コンビニでの税金等の収納、住民票等交付で村の負担は。

答　税金収納では支払い手数料3600件分23万7千円を計上。住民票・印鑑証明書交付手数料は定額で34万5千円は地方公共団体情報システム機構への負担金。実証団体である本村は半額になる。

新規・更新の交付2000件見込む

問　マイナンバーカードの交付状況は。

答　直近申請率は70％超。交付は68％。

役場庁舎LED化

問　電気料金の検証は

答　直近10か月の使用量は1・6％減少したが、料金は値上げで15・4％増加。予算は増額計上している。

空調機器をデマンド機器に更新

問　役場の節電対策は

答　電力使用ピーク時の使用料を基に年間契約。ピーク時の使用料を減らす取り組みをする。

中山間地域の課題地域のことは地域で

問　中山間地域の課題には地域活性化交付金の財政支援だけで良いか。他の方法はないか。

答　伴野区長が壬生沢福島地区の課題を検討したいという発言もある。

日赤奉仕団減少で非常時の対応は

問　日赤に替わる炊き出し班の検討は。

答　既に対策をされている区もあるが、各地区での検討を願う。

要望　日赤奉仕団は男性も加入できる。災害時に備えた組織づくりは村も検討願いたい。

母子手帳交付時から家事育児支援

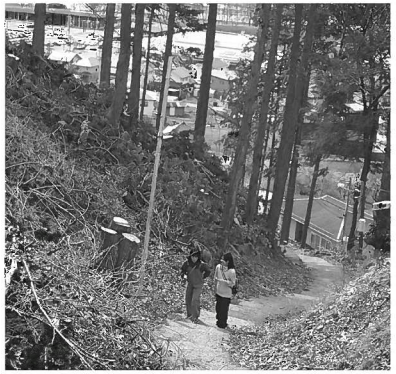
問　運用と周知方法は

答　近隣の事業者に委託。1歳まで1万円分の利用券を交付。

猫飼育登録で繁殖制限手術補助

問　補助対象の猫は。

答　野良猫でも飼育登録されれば対象になる。IDペンダントに飼い主氏名と連絡先を書き込み、猫の首輪につける。



令和4年度に伐採整備された中学校西斜面

しっかり管理北の沢最終処分場水処理施設

問　水処理施設管理委託料の内容は。

答　㈱エステムに管理一般と、月1回以上測定しなければならない水質検査を委託。年1回以上検査しなければならない水質検査を第三者機関に委託している。

アプリを使って正確なゴミ分別を促進

問　どんな内容か。

答　ごみの分別や出し方を確認することができ、「今日は××ゴミの日」といった情報機能もある。また、主なゴミ分別を5か国語に翻訳してアプリに搭載。

とよおか旅時間で　豊丘村観光協会が本格稼働
豊丘らしさを見つける・守る・発信する
コロナ後の観光振興の運営に期待

コロナ後　キャンプ場の利用促進を

問　指定管理者の運営方針は。

答　オートキャンプ場ではないがオープンな形で運営する予定。

要望　村内外に宣伝を

豊丘村観光協会設立村職員の立場の解釈結論は「兼務」

問　村の職員が一般社団法人の運営にあたることの扱いは。

答　「兼業」との解釈を訂正。「職務に専念する義務の特例に関する規則」を適用し「兼務」とする。

道の駅レストラン6月から観光協会の指定管理を検討

問　村が村に指定管理委託することにならないか。

答　観光協会は4月に法人化するため、指定管理先として指定は可能。

カラス駆除檻を設置

問　どこに、どんな檻を、捕獲後の処理は。

答　縦2・4m横2・0m高さ2・4m。入ったら出られない檻を田村原に設置を検討。一羽3千円は処理する猟友会に支払う。

要望　餌や水やりなど管理も含め、生産者や自治会、猟友会と協議して効果的な運用を。

中学校里山整備事業伐採後に植樹

問　整備範囲は。植樹の樹種と管理は。

答　対象は中学校北側等で、伐採木の処分費は含めない。モミジやケヤキの苗木を森林組合に委託して植栽し、その後の下草刈りなどの管理委託も検討する。

法人化する豊丘村観光協ｘ会は村職員が兼務、
道の駅レストラン指定管理先として観光協会を検討

中山間地域直接支払12箇所に交付金

問　国の制度だが農地維持の効果は。

答　地区内外から耕作者を募り、農地の維持に役立っている。

要望　更に豊丘版の支払制度等で希望を持てる農業に。

村内居住者は15名地域おこし協力隊

問　平成23年から協力隊員の村内定着と住居の状況は。

答　32名のうち、村内居住者は15名。専業農家は6人。就農に際し適当な農家住宅の空き家確保が難しい状況。

要望　就農促進へ協力隊メニューに有機農業等も加えてほしい。

フリースクール月4回利用を補助

問　利用者の実態では月3万円と聞くが。

答　松川町の施設「ハグ」での利用者補助金を参考とした。

要望　週1回で十分か。利用実態を把握して検討を願う。

霜凍結防止仕様のカーブミラー2基設置

問　厳冬期の朝の通勤のためにも設置個所を増やすべきではないか。

答　1枚4万3千円と高価なため、各区と相談して必要箇所に設置する。

企業版ふるさと納税寄付金は一旦村に入り、出ていくもの

問　信州大学の2講座への寄付金の流れは

答　飯田の企業が法人税軽減措置を受けることができるように、豊丘に一旦寄付された形（歳入）とし、村はそのまま広域連合に納める（歳出）。

ふるさと納税5億円歳入の10％を見込む

問　都市部ではふるさと納税の見直しを求めている。将来の備えは。

答　将来はわからない。現在は良く利用して活かしたい。

要望　平成29年から10年間の公共施設等管理計画が策定された。今後の維持管理にかかる大きな費用について注意を払い、認識できる

令和5年　第1回（3月）定例会

発議3件、条例案件10件、補正予算5件、一般会計1件、特別会計3件、事業会計2件、指定管理者指定および期間6件、請願2件など合計36件の案件すべてが承認される。

令和5年第1回定例会は、3月1日から3月22日までを会期と定め、各案件の対応は開会日に即決で扱うもの、また、常任委員会に付託するものがあり、それぞれの委員会および、本会議で慎重な審議がおこなわれました。最終日の追加議案も含め、議案内容及び、審議結果について報告致します。詳細は、各委員会報告を参照してください。

発議関係

発議第1号
豊丘村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

条例関係

議案第6号
豊丘村太陽光発電設備の設置等に関する条例の制定について
（社会文教委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第7号
豊丘村農業・農山村振興条例の制定について
（総務産建委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第8号
豊丘村ふるさと納税寄附金基金条例の制定について
（総務産建委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第9号
豊丘村有線放送施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第10号
豊丘村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
（社会文教委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第11号
豊丘村家庭的保育事業等の設備及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
（社会文教委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第12号
豊丘村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
（社会文教委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第13号
国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
（社会文教委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第14号
国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第15号
豊丘村商工業振興条例の一部を改正する条例の制定について
（総務産建委員会に付託）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

補正予算関係

議案第16号
令和4年度豊丘村一般会計補正予算第10号
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第17号
令和4年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第3号
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第18号
令和4年度豊丘村介護保険特別会計補正予算第3号
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第19号
令和4年度豊丘村水道事業会計補正予算第4号
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第20号
令和4年度豊丘村下水道事業会計補正予算第3号

（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

一般会計関係

議案第21号
令和5年度豊丘村一般会計予算
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・賛成討論1名
・討論内容　今回の予算編成は、随所に行政の努力が感じ取れる内容であるが、一部には、法人団体など外部に業務や作業委託する場合、費用対効果のない業者は、業者変更するなり、作業後の状況チェックが望ましく、また、旅時間などへの職員派遣に関し、明確にしておく必要がある
・全会一致で可決

特別会計関係

議案第22号
令和5年度豊丘村国民健康保険特別会計予算
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第23号
5年度豊丘村後期高齢者医療特別会計予算
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第24号
令和5年度豊丘村介護保険特別会計
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

事業会計関係

議案第25号
令和5年度豊丘村水道事業会計予算
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第26号
令和5年度豊丘村下水道事業会計予算
（予算・決算委員会に付託）
・質疑は省略
・討論なし
・全会一致で可決

議案第27号
豊丘村北垣外コミュニティセンターの指定管理者の指定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で採択

議案第28号
豊丘村田村コミュニティセンターの指定管理者の指定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で採択

議案第29号
豊丘村田村防災センターの指定管理者の指定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で採択

議案第30号
豊丘村伴野地域交流センターの指定管理者の指定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第31号
豊丘村農林水産物処理加工施設の指定管理者の指定について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第32号
道の駅の指定管理者の指定期間の変更について
（開会日即決扱い）
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

請願関係

請願第1号
「最低賃金法の改正と中小企業の拡充を求める意見書」の採択を求める請願
（総務産建委員会に付託）
詳細は委員会報告を参照してください
・質疑なし
・反対討論3名
・賛成討論3名
・賛成7
・賛成多数で可決

請願第2号
冤罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願
（総務産建委員会に付託）
・質疑なし
・反対討論3名
・賛成討論4名
・賛成9
・賛成多数で可決

請願に関する発議

発議第2号
最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について
・質疑1名
・反対討論2名
・賛成7
・賛成多数で可決

発議第3号
再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出について
・質疑なし
・反対討論1名
・賛成9
・賛成多数で可決

追加議案関係

すべて最終日即決扱い

議案第33号
令和4年度豊丘村一般会計補正予算第11号
・質疑、討論なし
・全会一致で可

議案第34号
辺地に係る総合整備計画の変更について
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

議案第35号
第6次豊丘村総合振興計画　基本構想の策定について
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

認定第1号
村道路線の認定等について
・質疑、討論なし
・全会一致で可決

その他

・監査および議長報告、継続審査申請あり

令和5年　第1回臨時会
出産・子育て応援交付金10万円

令和5年1月27日、第1回臨時会が開かれました。令和4年度豊丘村一般会計補正予算1件、4件の工事変更請負計画の締結についての審議がされました。

議案第1号
令和4年度豊丘村一般会計補正予算第9号
1,195・3万円を追加

歳入

○国庫補助金
761・8万円
出産・子育て応援交付金396・6万円（2／3補助）、道路橋梁費補助365・2万円

○県支出金
433・5万円
出産・子育て応援交付金99・1万円（1／6補助）、県議会議員選挙委託金334・4万円

歳出

○県議会議員選挙費
334・4万円

○出産・子育て応援交付金　595万円
（出産51名＋妊娠届68名）×@5万円

問　応援交付金の詳細は。

答　令和4年4月1日から対象になる。母子手帳交付時に5万円、乳児検診時に5万円交付するもの。出産51名は最大数。

問　これから2ヶ月あるわけだが、出産の数字はどのように出したのか。

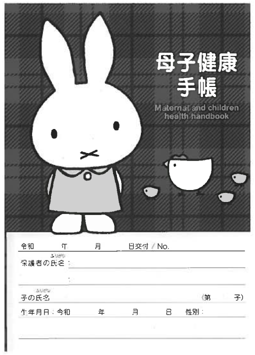
答　母子手帳交付の実績による見込み数となっている。

○道路維持費
29・2万円
簡易除雪機購入

○道路新設工事費
720万円

○予備費
△483・3万円

・全会一致で可決



母子手帳交付時５万円　乳児検診時５万円
交付される

議案第2号

令和3年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業　道路改良工事（堂平線　堂平）工事変更請負計画の締結について

・全会一致で可決

議案第3号

令和4年度水道管更新工事（河野地区3工区）工事変更請負契約の締結について

・全会一致で可決

議案第4号

令和4年度水道管更新工事（河野地区5工区）工事変更請負計画の締結について

問　安全費の内容は。

答　看板やバリケードを立てるなど。

・全会一致で可決

議案第5号

令和4年度水道管更新工事（河野地区6工区）工事変更請負計画の締結について

・全会一致で可決

片桐義憲議員に自治功労者表彰

片桐義憲議員は、議員在職15年以上で地方自治に功労があったとして、2月8日に全国町村議会議長会から表彰されました。表彰状は、3月3日に豊丘村議会議場において、片桐忠彦議会議長（代読）より片桐義憲議員に授与されました。

令和５年度　第１回定例会
ふるさと納税寄附金基金積立金　１億円

一般会計補正予算
第10号
2億4,179・4万円追加

歳出（主なもの）

○公共施設等維持整備基金積立金　1億円
○ふるさと納税寄附金基金積立金　1億円
○返礼品不足額
1,350万円
○国庫交付金確定に伴う一般会計出資債相当額　△1,070万円
○農業肥料等高騰対策支援事業不足分
340万円
○有害鳥獣捕獲奨励金不用額　△370万円
○住宅等リフォーム助成金事業不用額
△1,000万円
○給食資材費高騰による保護者負担軽減補助追加　100万円
○予備費増
2,096・3万円

歳入（主なもの）

○市町村たばこ税見込み額　500万円
○地方消費税交付金
1,697・9万円
○松くい虫防除対策事業補助金（県補助）
△210万円
○森林環境保全整備事業　1,326万円
○ふるさと納税寄附金
2億円
○一般会計出資債、国庫補助裏額確定による
△1,070万円
○公共事業等債（林道間沢川線）
1,280万円
○緊急自然災害防止対策事業債　730万円

国民健康保険特別会計補正予算　第3号（予備費で対応）

歳出

○令和3年度保険給付費等交付金償還金
426・9万円

介護保険特別会計補正予算　第3号
1,495・6万円追加

歳出（主なもの）

○介護サービス給付金
1,875万円
○介護予防サービス給付金　521万円
○見込額増に伴う
△582・1万円

歳入（主なもの）

○国庫支出金
379・9万円
○県支出金
295・1万円
○一般会計繰入金
259・7万円

水道事業会計補正予算　第4号

収益的支出
・工事請負費、原材料不用額　△250万円
・消火栓設置事業費確定　△100万円

収益的収入
・消火栓負担事業費確定　△100万円
・令和4年度消費税還付見込み額
△84・1万円

資本的支出
・水道施設更新事業費確定による
△1,250万円
・国庫補助額確定による　△1,070万円

資本的収入
・一般会計支出債相当額　△1,070万円

下水道事業会計補正予算　第3号

収益的支出
・工事費請負費、委託料不用額
△400万円
・消費税見込額
△17・6万円

収益的収入
・国庫補助事業対象外のため　△440万円

資本的支出
・施設維持工事請負費不用額　△200万円

一般会計補正予算　第11号（予備費対応）

・教育委員会事務局費報酬　80万円

全て、全会一致で可決

議員の意思表示一覧表　<令和5年3月　第1回 定例会>　○…賛成　▼…反対　ーは議長である為、採択に加わらない

	件名	審議結果	武田篤子	壬生眞由美	唐澤克己	滝川利秋	唐澤健	吉川明博	松下亨	井原康明	片桐義憲	川野孝子	前沢光昭	平澤恒雄	片桐忠彦
請願	請願第１号 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願について	採択	▼	○	▼	○	○	○	○	▼	○	▼	○	▼	－
請願	請願第２号 冤罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○	▼	－
意見書	発議第２号 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	原案可決	▼	○	▼	○	○	○	○	▼	○	▼	○	▼	－
意見書	発議第３号 再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○	▼	－

一般質問 ―12人の議員が村政を問う―

新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで質問をしております。

【1日目】

1. 川野（かわの）　孝子（たかこ）（11 ページ）
　1）「早寝、早起き、朝ごはん」の検証について
　2）高齢者の介護支援と認知症予防について

2. 武田（たけだ）　篤子（あつこ）（12 ページ）
　1）高齢者の交流の場について
　2）空き家等の対策について

3. 唐澤（からさわ）　克己（かつみ）（13 ページ）
　1）豊丘村観光協会による「観光地域づくり」に示された事業構想について
　2）新型コロナウイルスへの村としての今後の対処について

4. 平澤（ひらさわ）　恒雄（つねお）（14 ページ）
　1）妊娠から出産育児までの伴走型相談支援について
　2）外国人への日本語理解の支援について

5. 滝川（たきがわ）　利秋（としあき）（15 ページ）
　1）村財政の現状と課題について
　2）第６次振興計画と住民自治について
　3）郷土学習と豊丘の日

6. 前沢（まえざわ）　光昭（みつあき）（16 ページ）
　1）特別障がい者手当の周知について
　2）福祉医療費完全無料化について
　3）新型コロナ感染症の後遺症について

7. 吉川（よしかわ）　明博（あきひろ）（17 ページ）
　1）リニア中央新幹線効果はどのように期待するか
　2）給食の無償化について

【2日目】

8. 松下（まつした）　亨（とおる）（18 ページ）
　1）リニア効果を活かすために

9. 井原（いはら）　康明（やすあき）（19 ページ）
　1）災害時における氏名等の個人情報公開について
　2）消火器の購入費補助について

10. 唐澤（からさわ）　健（たけし）（20 ページ）
　1）中学校の部活動について
　2）インクルーシブ教育について

11. 片桐（かたぎり）　義憲（よしのり）（21 ページ）
　1）学校現場における平和教育について

12. 壬生眞由美（みぶまゆみ）（22 ページ）
　1）リニア建設工事の進捗状況について
　2）災害時の避難に備えた取り組みについて

【一般質問の申し合わせ事項】
- 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- １議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- 発言残り時間５分前に呼び鈴を１回、残り３分前に呼び鈴を２回鳴らす。
- 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

「早寝、早起き、朝ごはん」の取り組みは

答　村、学校が力を合わせ実践する

川野　孝子 議員

質問　20年位前から、「早寝、早起き、朝ごはん」の村として推奨してきていると思う。学校としてこの運動の子どもたちへの実態調査はしているか。

教育長　子どもたちの意欲面、集中、情緒の安定等が食事と深い関係があるという大きな取り組みになっている。子どもを取り巻く環境も大きく変化してきている。保護者の協力も必要と考える。

質問　「早寝、早起き、朝ごはん」の短いフレーズの中には子どもの成長に大切な条件が多く込められていると思うが子どもたちへの指導はどのようなものか。

教育長　平成30年４月から生活リズム改善部会設置要綱を作成した。教育委員会、子ども課健康福祉課、保育園、ＰＴＡ、保護者会等が連携する中で、推進計画を立て実践し成果と課題を報告し合うこととしている。

質問　「早寝、早起き、朝ごはん」は子どもたちだけでなく大人にとっても大切な生活習慣と考える。村としての取り組みは何かあるか。

健康福祉課長　妊娠期から幼児期についても生活リズムが大切ということで、プレママ教室、乳児健診等を通して支援をしている。

質問　誰の目にも留まるよう「早寝、早起き、朝ごはん」の横断幕を３校に、役場正面玄関等にかかげることは。

教育委員会事務局長　平成23年に新たに作成して各学校へ配布した。令和５年度にまた新たに作成し学校へ配布の予定。役場等については今後検討していく。

横断幕については、現在学校内で掲示している。

老々介護の実態と認知症予防について

答　生活習慣病予防に取り組む

質問　老々介護の実態が伺える。介護を続ける中で悩みや話を聞いてもらいたいことが多々あったが実情はどうか。

健康福祉課長　介護慰労金の対象者41名の中で配偶者の人が15名約４割の状況。老々介護の人が割合的には少ないと考える。施設利用をして１８０日以上在宅で介護している人は、子もしくは配偶者ということになっている。ケアマネが本人、家族の状況を把握した在宅介護の負担軽減を企るサービス利用の支援をしている。

質問　認知症について２０２５年には日本は高齢者の５人に一人が認知症になるという予測がされている。

コロナ禍が続く中、増えてきているという認識はあるか。

健康福祉課長　相談受け付けの状況もコロナによる閉じこもりは、関節筋力疾患を助長している。高齢者の認知症は高齢化によりコロナ以前から始まっていると感じている。

質問　認知症予防は若い世代から取り組むべきと言う意見もあるが。

健康福祉課長　認知症予防を見据えた生活習慣病予防に取り組むと同時に、若年期、中年期、晩年期に取り組める予防策を講じていく。

要所には目立つ標識を設置

公共の施設を開放し村のサロンを

答　開放を前向きに検討

武田 篤子 議員

質問　地域サロンの様子、活動状況について伺う。主体が区なのは。

健康福祉課長　8団体。主体が区は佐原、伴野区。週1から月1回開催で、内容も介護予防体操、ゲーム・レクレーション、カラオケ、ダンス等多岐。

質問　活動補助金について伺う。

健康福祉課長　1回の開催につき5千円と、参加者一人につき5百円を加算。

提案　区での運営はなかなか大変な物だと思う。サロン協力金というような補助をつけてはどうか。

村長　サロンが各地で行われるように研究していきたい。

質問　高齢者の生きがい作りについての考えや思いを伺う。

健康福祉課長　様々なメニューをまとめて健康教室で周知をしたい。また、農福連携事業を検討したい。

提案　はつらつ、憩いの家など公共の施設を開放して、誰でも来ていい「村のサロン」を、年間通じて行うことはできないか。

健康福祉課長　コロナ感染症の位置づけが5類に引き下がることを踏まえ、年間開放について、前向きに検討していきたい。

柿外土手作りサロン

空き家を壊し建てる時、補助を

答　委員会で揉み検討したい

質問　村が考える空き家等の定義は。

建設環境課長　原則1年以上使用実績のないもので、表札がない、電気等メーターが動いていない、庭木、雑草が繁茂しているなど13項目のうち3つ以上該当するもの。また、放置すれば倒壊など著しく保安上危険となるなどの空き家を、特定空き家等と言う。

質問　空き家の再生利用の仕組み、宅建業者との関わりについて伺う。

産業振興課長　「空き家バンク」に登録され、空き家を売買、賃貸借で活用する方に、改修費補助金として、事業費の2分の1、上限百万円を補助している。宅建業者とは物件情報を共有し、適正価格等の調査、利用者の仲介を行ってもらっている。

提案　空き家と認定する固定資産税を払っている人に対し、意向調査を行う中で、空き家の有効利用、処分などについて話し合いをしてほしい。

村長　空き家の調査をする中で、所有者がどのような問題をもっているのか前向きに対応する必要があると思う。

質問　特定空き家等で除却費補助金を受けるために必要な要件を伺う。また認定するためにどのような手続きがあるのか。

建設環境課長　区からの申請により、建築士が廃屋状況調査を行い、空き家等対策検討委員会で「特定空き家」として認定される。さらに、特定空き家等除去費補助金交付要綱の6項目の要件を満たすと補助対象となる。

質問　空き家を壊した後の税金はどうなるのか。制度の内容について伺う。

税務会計課長　建物への固定資産税の課税は0となる。土地への固定資産税は、住宅用地特例により軽減されていたものが特例の対象外となり本来の宅地の課税となる。(住宅用地特例で200㎡以下は6分の1、それを超える物は3分の1に軽減)。特定空き家の取り壊しは10年間特例の対象となる。

質問　飯田市のように、空き家を解体する際、補助をつけ、取り壊す後押しができないか。

村長　空き家を壊し建て直すための補助について、委員会の中で揉みながら導入の提案をしていきたい。

山林整備を観光地域づくりに加えては

答　山林整備は開始済、観光への寄与検討する

唐澤 克己 議員

質問　「観光地域づくり」の構想では、「豊丘村の主産業は農業」と謳っているが、意図は。

産業振興課長　村は農業立村を掲げ、農地の基盤整備を進めてきた。河岸段丘の下段には水田が、上段には果樹団地が整備され、そこでは地域性を活かした果樹や野菜、米や畜産など高品質な農畜産物が生産されている。村の農家数も670戸で全世帯の3割を占め、今後も農業を基幹産業として位置づけていく。

質問　「観光地域づくり」では、「観光による地域課題の解決」を掲げている。例えば農業の衰退や人口減少等をどのようにして解決していくのか。

産業振興課長　東京圏の住民調査では、地方の暮らしに興味を持つきっかけは旅行と回答した方々が多かった。そこで、豊丘村観光協会が提供する旅行を通じ、村を訪れた方々に村の農業や農村生活を体験していただく。これを契機に移住や就農につなげ、人口減少の解決や農業振興を図っていく。

質問　そうした構想をさらに実効あるものにするためには、村土の大半を占める山林の整備にも力点をおくことが、環境保全の見地からだけでなく、「観光地域づくり」には不可欠と考えるがいかがか。

産業振興課長　林業の斜陽化で、森林に着目した観光という視点は今までなかった。しかし、村では現在森林環境譲与税を活用した森林整備に取り組んでおり、今後は林業を農業振興と合わせた形で観光にも寄与できるよう検討していきたい。

意見　山林整備は大気の浄化のみでなく、農村の魅力向上にも一役。

整備された農地と山林、その一体化で農山村の魅力が倍増する

コロナへの国の方針変更、村の対処は

答　マスクは適宜着脱を、基本は国の方針通りに

質問　新型コロナへの対処について、国は従来の施策を変更していく方針を示した。そこで、村として特に生活様式の面で、今後どう対処していくかについて問う。以前は市町村別に感染者数が公表されていたが、今はそれがなくなった。現在村当局では村内の状況をどの程度把握できるのか。

健康福祉課長　国の方針に基づき、現在は医師の届出対象が高齢者等に限定されているため、各自治体別の感染状況の把握はできない。

質問　今後の対処については、生活様式の面で国の方針に全面的に合わせていくのか。あるいは、村独自の経験に基づき臨機応変に対処する場合もあるのか。

健康福祉課長　国は新型コロナの感染法上の位置づけを、5月8日から5類に引き下げることを決定した。生活様式については、3月13日以降、例えばマスクの着用は個人の判断となる。しかし、自覚症状があるときや医療機関で受診する場合などは、着用が推奨されるので、こうした際の着用は必須と考える。感染から自身を守る対策として効果的に着用いただきたい。いずれにしても、基本的には国の方針に沿って進めていくことになる。

要望　コロナ問題は、その対処に関し、村と地域との連携という点で貴重な教訓を残した。今後も適宜、地域への助言を期待したい。

子どもと親の日常を守るための支援を

答 来年度から家事サポート事業を行う

平澤 恒雄 議員

質問 妊娠届出から出生届出までの相談支援体制を聞く。

健康福祉課長 年間計画の妊婦教室で母子手帳を交付する。その際、相談受付や妊婦健診受診券の発行、産後2カ月までの各種支援事業の周知などを行う。これを第1回学習会とし、2回目は歯科衛生士が、妊娠中の虫歯予防を指導する。3回目はお産の迎え方や出産時の過ごし方を、助産師が指導する。

質問 0歳から2歳児の子育て世帯への相談支援体制はどうか。

健康福祉課長 母子保健法では1歳半と3歳の2回を規定しているが、当村は2カ月の新生児訪問、4カ月、7カ月、10カ月、1歳、1歳半、2歳、2歳半、3歳における任意健診を含めた乳幼児健診を行い、ほぼ100％の参加率となっている。

質問 村の出産祝い金10万円に加え、新たに行う妊娠と出産で合計10万円相当の経済的支援について伺う

健康福祉課長 令和4年4月1日以降の出生児36名は10万円の申請を、妊娠届けをしてプレママ教室に参加する妊婦33名は5万円の申請をしている。

質問 兵庫県明石市では毎月おむつなどを届ける「おむつ定期便」で、0歳児の育児相談や役立つ情報を伝える。当村でもやらないか。

村長 35人ほどの0歳児に対して保健師5人がいて、全世帯を把握している。おむつ定期便の必要はない。

質問 子育て中の親の体調不良の時などに、家事支援が欲しい。

村長 子育て世帯からの要望もあり、家事サポート事業を来年度から行う。

答 村の音声翻訳機を貸し出しても良い

自治会内で言葉が通じず困ることがある

質問 村に在住する外国人の使用言語別の人数はどうか。

税務会計課長 村内の中長期在留者は139人。中国語を話す中国籍が88人、ポルトガル語を話すブラジル国籍が17人、主に英語を話すフィリピン国籍が24人、ベトナム語を話すベトナム国籍が8人、イギリス英語を話すイギリス国籍が1人、韓国語を話す韓国国籍が1人いる。

乳幼児健診を行なう子育て支援センター（保健センター）

質問 転入する外国人に対する、役場受付窓口の対応を伺う。

税務会計課長 日本語での案内が難しい場合、窓口係にある音声翻訳機を使うこともある。

質問 名古屋市千種区では自治会に、携帯用の音声翻訳機を貸し出している。当村でもやらないか。

村長 村にある翻訳機を貸出しても良い。

質問 日本語を習う機会を提供したらどうか

総務課参事 平成29年度から「だんだんにほんご」という日本語教室をボランティアで開校し今に至る。毎月1回「ゆめあるて」で開く。今までに、中国、ベトナム、フィリピン、アメリカ、イギリス、ニュージーランド、デンマークの7カ国の人が学んだ。

財政と公共施設管理の見通しは

答 今後40年で518億円余に。

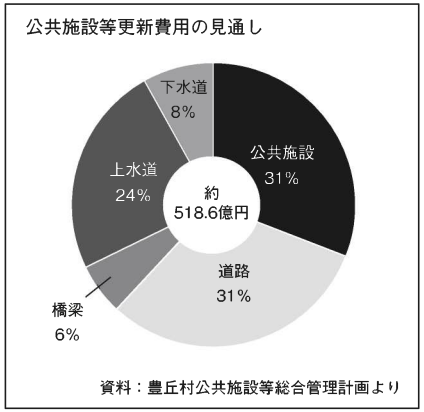
滝川 利秋 議員

質問 村当初予算は、平成24年までは、30～32億円で推移。平成25年以後は毎年45億円規模となっている。

ここ10年～15年をどう分析しているか。

総務課長 平成25年度を境に、40億を越える予算規模となって現在まで推移している。

大型建設事業が大きな要因となっているが複雑多様化する行政課題に、積極的に対応してきたことにより、人件費・公債費など義務的経費が11億円の増加となっている。



質問 平成26年、国の要請で公共施設等管理計画が策定されたが、その内容は。

総務課長 村の全ての公共施設・公共インフラについて、現在の規模を維持した状態で、国の定める耐用年数などの基準で建替え・更新を行った場合、今後40年間に発生する整備総額は、518億円余が見込まれ、1年間には約13億円と試算されている。

庁内全体で情報を共有し、適切な維持管理や更新に努めていかなくてはならない。

答 非常に勉強になった。

住民の声に自治のヒントが

質問 村では第6次振興計画策定に向けて、住民アンケートが実施された。村政に対する自由意見記述へは、300人の方々から貴重な意見が寄せられた。

住民自治という大きなパワーに繋がると考える。役場はそのリード役として期待されている。どう捉えるか。

村長 非常に勉強になった。また栄養にもなりました。

２０１６年リニューアルされた中学校岩石園

郷土学習と「とよーか」の日を

提案 ①小中学校における地元の自然や歴史、文化、産業を学ぶ郷土の学習は、さまざまな角度から重要な学習と考える。以下身近な教材として提案。中学校岩石園の利活用、中学生模擬議会で実現された田村霊園海外戦没者慰霊碑看板、三六災記念碑、各地の井水、松尾多勢子の足跡…

②30年以上前に、代田俊文さんが、公民館報へ10月8日を語呂に合わせ、「豊丘の日」にと提案された。村花、村木と合わせ、村の日を10月8日と定め、改めて村を見つめ直し、郷土愛を育むきっかけに。

特別障がい者手当の申請は

答　周知は村ホームページ、福祉窓口で

前沢 光昭 議員

質問　特別障がい者手当は在宅で20才以上で精神や体に著しい重度の障がいがあり、常に特別な介護が必要な人に、月2万7300円を対象者に支給する制度で障がいを持った方には必要な制度だ。しかし申請方式で対象者にもわかりにくい。市町村においては障がい者手帳所有者を県に申請すると聞いている。障がい者手帳を持っていなくても介護度4・5で医者の診断書があれば対象になる可能性があるとのことだが実態はどうか、制度は漏れなく利用出来ることが大事だ。

福祉医療費、完全無料に出来ないか

答　今は現在の形ですすめたい

質問　福祉医療費については長野県は中学卒業まで無料だが500円の受益者負担がレセプト請求代として自己負担がある。飯田下伊那では多くの町村で独自に300円になっている。

子どもの貧困が問題となっており、どの小中学校のクラスにも1～2名の貧困世帯がいると言われている。豊丘村では500円の負担が300円に独自に下げたのも実は早かった。

近隣に先んじて300円を無料と出来ないか。

村長　0歳から18歳までの福祉医療費は福祉医療事業検討会で、あり方を決め「制度を支える一員である事を自覚してもらうために、一部負担が適当だ」との取りまとめられた。今はそう言う形ですすめたい。

感想　県内では11町村が無料化した。500円から300円に下げたときも同じ議論があった。

新型コロナ後遺症の実態は

答　重大な事例はない

質問　新型コロナの感染については市町村ごとの把握もなくなり、ワクチン接種も5回目が進行中。全体像はつかめていないと思うが、第8波の流行も言われ、同時に感染者の後遺症、ワクチン接種の後遺症も問題となっている。嗅覚障害や味覚障害、記憶障害など訴える人もある。重大な障害を抱えた場合、退職せざるを得ない人もいる、こういった場合、労災の対象にもならないとのことだ。豊丘の実態として後遺症に悩んでいる人は掴んでいるか。

健康福祉課長　後遺症については関節痛により仕事復帰出来ない人がいたがその後復帰、相談所は開設したが相談実績はない。生活福祉資金貸付は1件あった。

質問　今後相談体制はとらないか。

村長　わざわざつくらなくても現状充分に対応できる、そういうことは気にかけるよう職員に指示したいと思う。

県内福祉医療費現物給付状況

対象範囲	受益者負担	市町村
20歳未満	なし	栄村
	300円	木祖村
	500円	箕輪町 山ノ内町
18歳以下	なし	長和町 原村 飯島町 中川村 宮田村 平谷村 天龍村 阿智村 根羽村 木曽町

健康福祉課長　おっしゃる通りで原則として毎年2月、5月、8月、11月に支給され、月額2万7350円、当村の受給者は15名、下伊那全体では70名なので当村の数字は少なくない。受給するには申請が必要、所得制限があり本人、配偶者、扶養義務者が所得限度以上だと受給できない。病院や施設に3ヶ月以上入院、入所していると申請できない。周知については村ホームページや窓口の福祉の案内などでする。老人ホームやグループホーム入所者については当村には該当者はいない。

リニア中央新幹線効果はどのように期待するのか

答　豊丘村があるぞと！！

吉川 明博 議員

質問　リニア中央新幹線効果はどのような期待を持っているか。開業前、開業後のマイナスとプラスの影響をどのように想像、予想をしているか。

村長　豊丘村内で行われる工事は、少しでも期間が短く終わることが村民に負担がかからないと考えている。工事からの迷惑を住民ができるだけ受けないように努力する。地主の皆さんにご協力を願いたい。プラスの影響としては、豊丘村は日本の中でも東西のまさにゲートウェイとして活況を呈した地域になってほしい。リニアが来ることによって日本のみならず世界に「豊丘村があるぞ」と打って出られるような場所にならなければならないと思っている。

給食の無償化は

質問　給食の無償化について、現在の保育園・小学校・中学校の給食費の年間の額はそれぞれいくらか、また合計額でいくらになるか、令和4年度の一般会計予算とこの総額を比較すると何パーセントくらいになるか問う。

子ども課長　保育園の給食費は保護者の方からは給食費はいただいておらず、予算の賄い材料費として計上をしており、昨年4月からこの1月までの賄い材料費は1,575万173円の支出でした。一月平均が157万5,017円となりますので、今年度3月までの総支払見込みは1,900万円ほどになるかと思われる。

教育委員会事務局長　学校の関係では食材費のみを給食費として保護者から徴収しております。小学校では1食当たり252円、中学生は303円で徴収しており、令和4年度は総額で3,402万円を徴収している。また、令和4年度の一般会計予算額と比較すると割合は、小中学校は0.55%となる。

要望　このパーセンテージを聞きますとなお一層、無償化をすべきだと考える。

もう一つの考え方としてはふるさと納税があり、これを有効活用できるはずですので、ぜひ無償化を実現して子供を育てやすい「学校給食無料の豊丘村」と胸を張って言えるように、今後進めていただくように要望する。

村長　福祉タクシーに2,000万円を今かけている。福祉タクシーに使う金額くらいは子どもたちの給食費に回してもこれは誰も賛成していただけると思っている、来年度当初の予算には載せていないが、補正予算というようなこともあるのかもしれない。

リニア中央新幹線　伊那山地トンネルの戸中・壬生沢工区

貸出農機具に乗用モアなど機種を充実しないか

答　ドローンやラジコン草刈機と合わせ検討したい

松下　亨 議員

農業版の「おてこ隊」組織を作らないか

答　スマホアプリで仲介できる方式もあり、今後、検討する

質問　松川町では、農業法人を作り職員2人を配置し、遊休農地の解消や荒廃農地の復元を行うという。当村でも農業版の「おてこ隊」組織を作り農作業の支援をしないか。

産業振興課長　農協が開発したスマホアプリ「1日農業バイト」の活用を進めている。希望する農家とバイト希望の働き手を結ぶ仕組み。便利なサービスで実際に活用が広がっている。今後の状況を見ながら検討したい。

質問　遊休農地90ｈａ余の減少策として、営農支援センターで行っている農機具貸出事業に、乗用モアなど機種の追加をしないか。

産業振興課長　スマート農業の観点からドローンを使った農薬散布やラジコン草刈機等の省力化が進展している。よって、それらを踏まえ貸出農具の充実を検討したい。

質問　荒廃地の復元支援として「農地リフレッシュ補助金」があるが、認定農業者以外は対象にならない。

産業振興課長　現行は指摘のとおりである。今後は、認定農業者以外の方も対象にするよう検討したい。

移住後の支援を手厚くすべきではないか

答　農業研修生は意見交換会等ある

質問　移住相談窓口を介した移住者は、何世帯で何人いるか。

産業振興課長　令和元年度から今年度の実績は、移住世帯数は14世帯、人数は28人で、内、就農者は8人である。

質問　飯田市では移住推進体制を強化した結果、移住者数も増加している。今後、当村でも移住者が増加すると思われる。受入れ担当は専任化など充実・強化すべきではないか。

副村長　窓口は「だいち」で行っているが、来年度は会計年度職員を加配して充実したい。

質問　兼務では責任体制が十分でない。以前のように専任が必要だ。また、移住後の支援を手厚くすべきでは。

産業振興課長　地域サポーターを村内に9人配置し、空き家物件の紹介や移住者の地区内案内、相談に乗っている。農業研修生は、農業懇談会や農業技術者協議会で意見交換の場を設けている。

企業誘致委員会で誘致計画等を樹立しないか

答　重要なこと。今後、検討したい

質問　村長は、昨年京浜急行の社長と面談し、企業誘致についてお願いしたと聞いているが、その後は何か進展ははあるか。

村長　その時は具体的な誘致依頼ではなく、どの程度の興味があるか、とっかかりの面談であった。今後は、行政だけでなく皆で協力しあって進めたい。

質問　村に企業誘致委員会があるが、この委員会へ招致計画の樹立や具体的な招致活動について諮問したことはあるか。ない場合は、諮問して推進を計っていくべきではないか。

産業振興課長　指摘のとおり規則で定められている誘致計画樹立等は諮問していない。今後、リニアを見据え企業進出が活発化すると考えられる。よって、企業誘致委員会や県の機関とも連携することが重要になるので、前向きに検討したい。

デモンストレーション中のラジコン草刈機

有事の際に行方不明者の氏名公開はどうする

答　長野県の基本指針に準じて公表を行う

井原 康明 議員

質問　国では2021年に有事の際の行方不明者の氏名公開を、家族の同意が無くても行うとの基本指針（基準）を示し、これを受けて長野県でも有事の際は国の指針に準じて行う方針が2022年に示されているが、当村はどの様に対応をするのか。

総務課長　当村としても長野県の基本方針に準じて、有事の際は、家族の同意が無くても公表する事としている。

質問　公表する際の基本となるデータはどんなものを考えているか。

総務課長　現在の支え合いマップ（要支援者確認表）を活用したい。

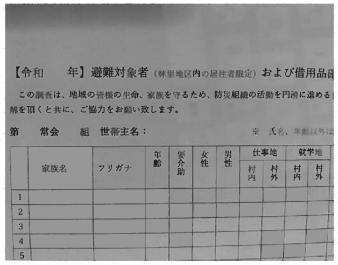
質問　現在の支え合いマップは有事の際の行方不明者の捜索に対する情報源としては、利便性に乏しい。令和3年の一般質問では、今後区長会とも相談しながら方向を検討したい答弁だったがその後の展開はどうなのか。

総務課長　住民台帳の必要性は理解するが、村外の方もいるため、すべてを把握するのが困難であり、今後も支え合いマップを基に改善を図り、検討を続ける。

有事の際、行方不明者の捜索には地元の住民台帳が一番重要な情報源であり、これを村や、災害対策本部が活用する情報源の活用が望ましく、早急に住民台帳への活用切り替えを検討すべきと考える。

提案　現在の支え合いマップの各戸配布調査表を少し変更すれば十分データ把握には活用ができる。内容は村内に居住する方をすべて対象とする。①住所、氏名、自治会、隣組②性別③年齢④就業先（村外・村内）⑤就学先（村外・村内）⑥要支援⑦備考

更に有事の際に借用できる物の把握のための、借用品目および承諾書も兼ねるとより有効的に活用できると思い、検討されたい。



【令和　　年】避難対象者（林里地区内の居住者限定）および借用品目

この調査は、地域の皆様の生命、家族を守るため、防災組織の活動を円滑に進める為頂くと共に、ご協力をお願い致します。

第　　常会　　組　世帯主名：　　家　氏名、年齢以外は

	家族名	フリガナ	年齢	要介助	女性	男性	仕事地 村内	仕事地 村外	就学地 村内	就学地 村外
1										
2										
3										
4										
5										

住民確認表名簿

消火器購入に補助を

質問　現在、消防団員の確保に各地区や行政にはご尽力いただいているが、中々団員が増えない現状だが、村としての対策などはどの様か。

総務課長　役場内に消防班を置き、消防や災害対応に協力するなど、消防団員の減少に係る活動影響減少にも支援をしている状況だ。

質問　団員数もある程度確保でき、各地区の自衛消防組織も確立している状況なら、初期の消火活動も支障なく取り組めるが、有事の際の一番先に消火などするところは火元の方で次にその隣組の方が初期消火に当たることが望ましい。そのためには一家に1～2本の消火器の設置が必要である。当村の補助事業には消火器の購入補助がないため、新規の購入および期限切れなどの入れ替えに対する費用を補助することができないか。

総務課長　訓練等で使用した場合は村で行っているが、新規購入や、詰め替えの補助については未検討の状況だ。

近隣でもこの様な補助制度はないが、大切な部分でもあるため、補助金制度について少し検討したい。

村長　当村も生産年齢世代を呼び込もうとしており、新築するなどの流れの中で、消火器の設置は大切なことで、呼び込みのために一つの有効な手段としても考えられる。県内には補助制度導入の町村はないが、全国では確認されているので、補助制度について前向きに検討する。

要望　制度導入は、当村の魅力になるのでぜひ導入されたい。

中学校での部活への入部状況は

答　入部率は約90％

唐澤　健 議員

質問　現状、中学校の部活はどのようになっているか。

教育長　設置、運営は学校の判断によります。生徒の参加は自主的、自発的で、豊丘中学校では加入率は非常に高く、90％ぐらいだ。

未加入の生徒については、総合型スポーツクラブはサッカー、陸上、それ以外に地域のスポーツクラブに所属している生徒がいる。また、外部指導者が入っている部もある。

質問　現在の中学校部活動の地域移行について、検討状況はどのようになっているか。

教育長　村では、7月に豊丘中学校のスポーツ・文化活動運営委員会で、国の方針等の説明を初めて実施した。10月に村のスポーツ推進審議会を12名ほどで立ち上げて、意見交換をし、12月にはその代表が集まってもう少し詰め、そして1月に入って、中学校のスポーツ・文化活動委員会で今、進んでいる状況を話したところだ。

質問　地域の指導者を募る場合、広く村内に呼び掛けることが必要ではないか。

教育長　現在、部活動で外部指導者としてボランティアで関わってくださっている熱心な方がいる。まず、そういう方々に協力いただくことが一番かなと思っている。

インクルーシブ教育とは？

答　多様性を認め合うこと

質問　特別支援学級について状況はどのようか。

教育長　学校において、障がいのある子どもさんのために、小中学校に障がいの種別ごとに少人数の学級をおいている。

種別は知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障がいなどの学級がある。

村内小中学校の3校には、知的障がい学級と自閉症・情緒障がい学級が設置されている。

大鹿・豊丘・喬木の竜東3地区の教育委員会で調査をし、判断をして、お子さんの就学について、学校や地域の状況等を踏まえて、総合的な観点から、最終的には教育委員会が就学先を決定する。

質問　大阪市立大空小学校は、一つの約束「自分がされて嫌なことは、人にしない、言わない」だけです。教師も大人も、「子どもに学ぶことが大切だ。」と言っている。また、初めから子どもを排除する特別支援学級は必要ないとも言う。

ひとりの子どもも見捨てない「インクルーシブ教育（仲間はずれにしない、みんな一緒に）」を実践している。

そこで、インクルーシブ教育についての考えを伺う。

教育長　インクルーシブな教育は、子どもが仲間と出会って関わり合っていくという。その中でこの多様性を認め合うということは、非常に大事なこと。他者とつながる力、それから多様な価値観の中で問題を解決していく力を育むということが、非常に有効であると考えている。積極的に実践を積みたい。

質問　豊丘の小中学校では黙々清掃をしている。黙っていることが難しい発達障がいの子や知的障がいの子は学校で掃除ができないのではないか。

インクルーシブ教育との関連で、見直すべきではないか。

教育長　そのインクルーシブな立場で、清掃中でもお互いを理解し認めていく。黙ってできる子どもは、黙ってできない子どもに話しかけられても関わっていける。この条件の中で黙々清掃は十分やれるというように考えている。

豊丘中学校

学校現場における平和教育について

答　発達段階に応じて様々な教材提供で学習

片桐 義憲 議員

平和教育の位置付けと実態は？

答　中学校では、教育計画の中で明確に位置付けしている。

教育長　各学校では、教育基本法や、学習指導要領に基づき、教科、道徳、特別活動の時間に、学年の発達段階に応じて様々な教材を提供し、取り組まれている。

3、4年生では、国語の物語り教材として扱われており、4年生では「一つの花」が教材となっている。

5、6年生では、広島の原爆ドームに触れながら、平和の尊さを学習。また社会科の「戦争と人々の暮らし」では、満州開拓団、日本国憲法について、教室だけにとどめず、工夫をこらしながら家庭も巻き込む中で行われている。

中学校では、社会科、英語科で原爆投下が扱われている。

満蒙開拓平和記念館への訪問、語り部の講演会の聴講等、村に関係の深い戦争の歴史や、平和、人権の大切さを考えるきっかけとなる学びをしている。単に考えるのではなく、平和をつくる人になってほしいと、教師も願っており、教師自身も十分に教材研究をして、より心に染みる指導を行っている。

平和教育への思いとメッセージを問う

答　戦争の恐ろしさをしっかり伝え、郷土や郷土の自然、文化、歴史を愛する。国民同士仲良くできる。隣の国の人々の価値観も認めること。「愛国心」が必要。

村長　私も若い頃には、ベトナム戦争もあったりして、マルクス・レーニン主義にシンパシー（同情・共感）を抱いた一人であった。また、大好きなロックを口ずさんでもいた。

朝日ジャーナルを廃刊まで読み、田中康夫との出会い、初めての選挙活動をした。

ジョー・オダネルの「焼き場に立つ少年」を見るたびに、こういうことがあるということを子どもたちに伝えていかなくてはと強く感じている。

過去の反省のもとに国連がつくられたが、今回のロシア侵攻では国際法での解決は難しいことを非常に感じている。

市民としての平和とは国としての平和は、いざ戦争になった時のオペレーションの違いをウクライナ情勢を見て強く感じており、今、大人たちが考える重要なことと思っている。

教師の皆さんには、戦争の悲惨さから学んだ日本人しか持っていない、特に豊丘村の悲しい思い出をしっかり伝える中で、愛国心も子供たちに芽生えるように尽力していただきたいと思っている。

教師の対応、子供たちの反応、課題は？

答　限られた時間の中での進め方も課題

教育長　満蒙開拓平和記念館見学の子どもたちの感想の中に「当時どの様なことが起きていたかを知って、このことを、みんなに知ってもらいたい。」「小学校6年生くらいから知ってもらいたい。」「もっと歴史について考えた方が良い。」「目を背けたい歴史に目を向け、二度と同じことがない様にしたい。」等、子供たちは自分なりの深い考えを持つに至っていると思っている。

戦争体験の無い教師だから、平和について真剣に考えていくためにも、満蒙開拓平和記念館見学を継続していきたいとの強い思いが教師にある。

戦争の悲惨さ、平和の尊さを、知識だけでなく、願う心を醸成していく。そして実践していく力が大事であり、その意味で記念館の見学、語り部の講演の感想から、実感を伴って理解して自ら行動を起こそうとする生徒の姿が見られることは、非常に嬉しいことと思っている。

また、公民館の平和学習の企画と連携させて、学校教育と社会教育とが一体となった平和学習が進められれば良いと思っているので、検討していきたい。

ヒ素を含む浸潤水を虻川に放流する根拠は

答 JR東海と検査値の公表を調整したい

壬生眞由美 議員

質問 トンネル掘削発生土に含まれる重金属の検査主体は、笛吹市の先行区間では第三者の山梨県が実施した。豊丘では工事主体のJR東海でよいのか。

総務課長 県の考えは、自然由来の重金属の確認は事業者の責任で実施するもの。ダブルチェックを要望する提案があれば調整する。現在、他の市町村からの要望もないので、独自に検査をする予定はない。

図：排水処理のフロー

R3. 10. 3　JR東海資料より

質問 ヒ素の濃度が基準を上回る土が仮置きされている。シートで覆い、雨の流入を防いだ土から浸潤した水がタンクに保管され、再度検査され、基準値を上回れば産業廃棄物として処分するという。その実績はあるか。

総務課長 産業廃棄物として処分した実績はない。3～4カ月程度でタンクは満タンになり、基準値以下の値ということで虻川に放流している。検査結果は公表していない。放流後の虻川の水の検査値は公表、と報告を受けている。

質問 一度いわば黒と判定された土を仮置きし、二度目の検査で白になるのか。虻川に放流する根拠となる放流前の検査値を公開すべきではないか。

総務課長 発言のとおり。提言をJR東海に掛け合い、調整したい。

県の盛土規制条例で対応できるのか

答 現場確認と図書の保存等は県と検討

質問 熱海の盛土崩落事件を機に、県では盛土規制条例が1月に施行された。村内の工事で対象になるものは。

総務課長 国の法に基づく審査を受けている本山発生土置き場や、村の事業であるてっぺん公園の駐車場の造成、佐原線の改良の盛土は県の盛土規制条例の対象外。戸中発生土置き場と坂島の仮置き場は対象となる。

質問 条例では申請者に土砂の管理台帳の作成と関係書類の5年間の保存を、土地所有者には、毎月施行状況の確認と完了後の適正な管理を規定しているが、5年間では短い。

総務課長 本山も戸中の発生土置き場も、時には、県のリニア整備推進局、林務部の担当が同行し現場を確認している。工事関係図書等のチェックは本山地縁団体から要望もあり、県の関係機関と最終チェックを検討中。図書の保管期間も5年10年で廃棄ではなく県と検討する。

3・11 東日本大震災から12年 防災について考える

質問 村の非常用物資の備蓄場所は役場及び図書館地下だが、地震の際に機能するのか。

総務課長 初動体制の確保のため、現状はやむを得ない。

提案 分散型避難もある。都内では街区公園に備蓄する例もある。

質問 防災の日常化が大切という。「非常時に備える3ステップ」パンフの普及状況は。

総務課長 HPで公開。自治会の会合などで利用されている。

提案 浸水で心配される県営住宅居住者向けに外国語版の作成を。

総務課長 検討する。

農業振興条例など3条例を可決

―― 冤罪被害者を救う請願など採択 ――

総務産建委員会　委員長　滝川　利秋

新たに作られる（村）農業、農山村振興条例をはじめ2件の新条例と条例改正1件が、また2件の請願が当委員会に付託された。

3月14日委員会を開催、審査の結果条例3件と請願2件はいずれも委員会としては可決採択され、本会議で審査結果を報告した。

宮下農業委員会会長を参考人として

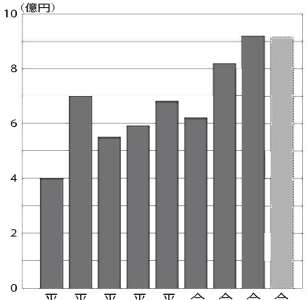
豊丘村農業・農山村振興条例について

参考人　条例策定委員会副会長　宮下幸一氏

農業を基幹産業として育み、魅力ある農山村の進むべき道を明らかにするもの。

条例策定にあたっては村民13名による委員会で作成。パブコメには5名より29項目の意見が寄せられた。

全会一致で可決。



H24～R4 ふるさと納税寄付金額
※R4も決算額は9億円を上回る見込み

県の助言受け ふるさと納税基金を創設

豊丘村ふるさと納税寄附金基金条例の制定

ふるさと納税寄附金は、令和4年度も9億を上回る見込み。村ではこれを財源に子育て支援をはじめ様々な助成を行ってきた。しかし今後ふるさと納税制度が見直されても、急に助成を廃止せずに済むよう、基金を新設する。

全会一致で可決。

分類緩和で企業誘致

豊丘村商工業振興条例の一部を改正する条例の制定

工場等の固定資産税を3年間免除する村独自の制度の、工場等の分類を緩和するもの。

全会一致で可決。

請願　議案1は賛否同数 委員長判断で採択

議案1

最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

請願者

飯伊地区労働組合連合会　議長　伊壺一輝さん

参考人

同、遠山計さん

概要

地域別最低賃金制度は、地域間の様々な格差を生み出している。全国一律是正を。

審査結果

賛否同数となり、委員長判断で採択。

議案2

冤罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願書。

請願者

日本国民救援会、飯伊支部長　原正治さん。

参考人

同、事務局長　斉藤寛武さん。

概要

再審における全面的な証拠開示を制度化する。再審決定に検察官の不服申し立てができない制度に。

審査結果

採択（賛成4・反対2）

新規就農者を訪ねました。

総務産建委員会では1月18日南信州担い手就農研修制度（JAみなみ信州で胡瓜・市田柿の研修）を終え、就農された新規就農者の皆さんを訪問、お話をお聞きしました。

「胡瓜は県平均の2倍の収穫量でした。」

「市田柿600コンテナを加工、出荷も終了し、現在剪定作業中」

「近所の方から玄関や軽トラの荷台は、おっそ分けの品、感謝です。」

―― しっかりした農業技術、楽しく農業、くらしをされている様子が伝わってきました。 ――

社会委員会提出の提言の説明受ける

社会文教委員会　委員長　唐澤　健

昨年12月に村に当委員会から提言した6課題について、検討結果の説明を受けました。

猫飼育の適正化について

飼い猫の去勢・避妊手術は補助金5千円（上限）を今のところ30頭分の予算とした。基本的に飼い猫ということですが、野良猫を飼い猫として飼う場合も対象とする。

学校司書の増員・電子貸し出し（DX化）について

現在、学校の司書は、中学校と北小学校合わせて1名、南小学校で1名。大変人手不足ではあるが、増員できる状況になく、今現在、南小学校の交替司書を探している。電子貸し出しのことは、まだ細かい詰めが学校とできていないので、検討する。

村長　いわゆる時間給でなくても会計年度でもいいと、思っているところ。

社会福祉施設等への価格高騰対策支援について

長野県高齢者福祉施設等価格高騰対策支援事業が実施され、村内のほとんどの高齢者施設・医療機関が対象になった。今回の対象とならない接骨院等4施設について、健康福祉課の事業として県の条例に準じて、豊丘村社会福祉施設等価格対策支援事業要綱を制定し、12月中に支払った。また、村として国のコロナ交付金を利用して、事業者に対して支援した。事業者燃料補助事業については、購入費の10分の1で上限を10万円。電気料金高騰対策支援事業は、連続する3ヶ月間の電気料を昨年同期と比較し、求めた年間の差額の10分の2、上限30万円を支給した。この事業において、村内の福祉施設も対象になり、老健施設と地域密着型特養施設の2件1法人についても、対応している。

飯田養護学校

「ヤングケアラー」の認識啓発と支援について

昨年9月から10月にかけて小学校・中学校で、県がアンケートを実施した。村内では小学生1人が家族兄弟の面倒を見ていると県から連絡が来たが、これは、ヤングケアラーには該当しないと、学校は判断している。

不登校児童生徒の支援について

村内の小学生・中学生に、フリースクール松川のハグを利用しているお子さんがいる。保護者の希望等を聞いて、前向きに取り組む。また、学校に行かなくても幸せになる場所があるということを、職員や保護者に話す機会を、学校と相談しながら計画する。

子どもの居場所づくりの支援について

村内の場所を使って、話ができるようなスペースがあるといいという創意団を受けている。これから話を聞きながら、社協の方と相談をしながら話をしましょうという段階だ。

3月定例会の開会後に先ず一般質問
今回の会期日程がダメという委員はいない

議会改革検討委員会　委員長　平澤　恒雄

昨年12月の定例会後の1月から3月にかけて、委員会を4回開催しました。今回の3月定例会を試験的な会期日程として設定し、検証を行いました。

開会日より10日以上前の、一般質問通告書の受付からスタート。

3月議会会期日程は次のとおり。

2／16 一般質問通告書受付開始（今までは開会日の当日に設定）
2／17 一般質問通告書受付締切（今までも受付開始日の翌日に設定）
2／24 議会全員協議会（今までも行っている提出議案の説明）
・一般質問通告書修正受付
3／1　定例会開会日（開催月の第一火曜日）
3／3　一般質問1日目（今までは会期の最後に設定）
3／6 一般質問2日目（同）
3／9 予算決算委員会1日目（今までも会期の中間に設定）
3／10 予算決算委員会2日目（同）
3／13 社会文教委員会（今までは会期の最初に設定）
3／14 総務産建委員会（同）
3／20 再開日（全て議了し閉会した）
3／22 予備日（取り消した）

3月20日に全ての提出議案を議了したので、会期を20日までとし、3月22日の予備日を返上して議会改革検討委員会を開催した。今回試験的に行った会期日程について意見を求めたが、良くなかったとする意見は全く出なかった。

委員会としての課題は全て検討し尽くしたので、今回を以て今期の議会改革検討委員会は終了することとした。

住民の声が議会だよりを彩る
―広報部会、先進地視察から学ぶ―

広報公聴特別委員会　広報部会長　唐澤　克己

村議会の広報部会では、令和5年2月15日に議会広報に関する先進地視察を行いましたので、概要を報告いたします。

1　視察地：
開成町議会（所在地）　神奈川県足柄上郡開成町延沢773番地
＜開成町概要＞　東京から70km、横浜から50km圏内にあり、東西が1.7km、南北が3.8km、総面積が6.56km²で、全国で面積最小の町。町の標高は最高68.8m、最低32.2mで、町全体が平坦地にあり、降雪もほとんどない。人口は令和4年5月1日現在で18570人、7152世帯で、毎年増え続けている。

2　視察理由：
議会だよりをタブロイド版で発行し、内容や紙面構成でも高い評価を得ているため。

3　視察内容：
議会の正副議長及び事務局長より、町の概況や議会だよりの作成意図や過程等の説明を受けた後、質疑を行った。
開成町の議会だよりの紙面を見て印象に残った点は、多くの住民の意見を議会だよりに掲載していること、行政視察など議会が行った行事や活動に対して各議員がそれを今後どう活用していくつもりなのか、しっかり伝えていること。

4　視察の成果：
多くの住民の声を議会だよりに載せている点が、当村の議会だよりの方向性を考えるうえで大変参考になった。

南信州広域連合議会から

令和５年度　・一般会計・基金特会　・消防特会・稲葉Ｃ特会　予算総額 40 億 14,210 千円

豊丘村の負担総額は 168,190 千円

南信州広域連合議会　片桐　忠彦

南信州広域連合議会が、２月14日から２月28日の会期で開催され、令和５年度予算等の審議がされ、原案どおり可決されました。南信州広域連合では、一般会計の中で飯田竜水園のし尿処理施設の運営ほか、広域消防、稲葉クリーンセンターなどの運営も受け持っています。

今回は、①消防指令センター協同運用検討について、さらに②南信運転免許センター新設に伴う創造館についての一般質問が出されましたのでその答弁など報告をします。

①消防指令センター協同運用について

現在広域消防本部では、木曽消防広域本部との指令センター広域運用について検討している。検討内容は「住民サービス」、「消防体制の基盤強化」、「財政効果」の視点から、としている。双方の通信機器の更新時期が同時期でありメーカーも同じことから、経費の効果、相互支援に有効的としています。今年８月までに意思決定し、国の財政支援が受けられる期限の令和７年度整備を予定している。

総事業費10億円弱、飯田広域持ち分は約７億円余とのこと。単独整備の場合は、13億円余必要との説明。

②南信運転免許センター新設に伴う創造館閉館について

経過として、県は地域の施設は地域に任せるとの考えがある。限られた面積中で、駐車場の配置や公園機能も残す観点、さらに建物も古く、場所も良くないことから、取り壊すこととなった。

地元の活動は地元でとの方針なので地域で存続できるよう考えていきたい。

下伊那北部総合事務組合議会から

令和５年度　一般会計　火葬場特会　予算総額 75,550 千円 前年比△ 3,218 千円

豊丘村の負担総額は 11,943 千円

下伊那北部総合事務組合議会　片桐　忠彦

下伊那北部総合事務組合議会は２月17日に開催され、令和５年度予算等が審議され可決されました。当組合議会は、２町から各３名、３村から各２名の12の議員が選出され、当番町村選出の議員がその年度の組合議会の議長を努めます。

今年度は大鹿村が当番となっているため大鹿の河本氏が議長を務めています。当事務組合では、火葬場の運営や行政サービスの一部共同化（水質検査）などを目的として運営されています。

本事務組合の令和５年度事業で、特筆するのは、これまで委託費に計上してきた北部地区結婚相談事業を令和５年度から直営事業として、一般会計に結婚相談所運営費とし新たに項目を挙げ、予算計上し事業を行っていくことになった。

令和４年度の北部地域の成婚件数は５組とのこと。なお、３年度は２組、２年度は４組との報告でした。近年成果が上がっていると感じる。

北部火葬場の指定管理者の指定の議案が出されました。火葬場は、５年サイクルで、管理運営を委託し管理をしてきた。今回新たな５年間の管理者を決め、契約していくもの。期間は令和５年４月１日から５年間となる。契約の相手方は、特定非営利活動法人　飯田葬祭事業組合　理事長田中淳となる。指定管理料は、１１，５５２千円。

火葬場特別会計予算総額は２８，６８０千円で、その中に指定管理料と改修積立金の１千万円が計上されている。

春の風物詩

今年は３月から桜が咲き始め、村内各所で華やかに春を彩りました。４月初めには、いくつかの地域で春祭りも開催されました。４月１日、２日に行われた河野及び小園の神社に関係する祭りの様子を、表紙の写真の説明に加え、掲載いたします。コロナ禍が一段落、久しぶりに賑わいが戻りました。

表紙の写真の説明

３月22日、田村原で桃の摘蕾（てきらい）作業をされていた「たむら夢畑（ゆめばたけ）」の方々です。会員は全員で20名、４反歩の桃畑の管理をされています。この日ものどかな春の青空の下、11名の方々が作業をされていました。賑やかな話し声が写真に写らないのが残念です。

大宮神社の春祭り
（河野）

河野大宮神社で春の祭典が４月１日、２日の両日に行われました。新中学１年生の女生徒７名がオカメに扮して舞いを行う中、獅子舞いが奉納されました。コロナ禍前のような賑やかな祭りとなりました。

河野壮丁踊り
（道の駅にて）

４月１日の午後から道の駅「とよおかマルシェ」で河野壮丁踊りが披露されました。20歳を迎えた男性４名、女性３名が舞いました（この日１名は都合により欠席）。踊り手がいない時期もありましたが、今年は賑やかでした。

小野神社の春祭り（小園）

４月２日は伴野区小園にある小野神社の春の例祭です。いよいよ屋台の出番です。屋台は例祭前日と当日に地域内を曳航（えいこう）します。笛、大太鼓、小太鼓、鼓、大皮を、屋台の中で演奏しながら、地域内を賑やかに練り歩くのです。

豊丘議会だより
第102号 3月定例会
令和5年4月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部会
印刷／龍共印刷株式会社

豊丘村議会 検索

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

みんなのページ

安田徳治さん
―ご自宅前で農業用の愛車とともに―

果樹農家として頑張りたい

―林原の安田徳治（とくはる）さん―

林原にお住まいで、農業を営む安田徳治さんを紹介いたします。安田さんは、5年ほど前に豊丘村に転入してこられました。農業の経験はなかったそうですが、現在は野菜や果物づくりに取り組んでおられます。議会だよりのインタビューに、さわやかな笑顔で答えていただきました。

〈豊丘村には、いつ、どちらから転入を?〉

2019年の3月に愛知県から移住してきました。

〈農業を始められたきっかけは?〉

子どもとの将来の話の中で農業のことが出ていたし、年齢を重ねても夫婦でできることはないかとも考えていました。妻や子どもが果物好きで、ブドウを栽培したいと思ったことなどがきっかけです。

〈今後の計画は?〉

担い手就農研修制度で2年間学び、今はキュウリと市田柿を作っています。就農時に植えたブドウや桃が、やがて実り、果樹農家として認めてもらえるよう頑張るつもりです。

〈村に住んでの印象や感想は?〉

とにかく果樹が豊富で、季節により変化に富んだ野菜や果物、きのこなどがあり、「食」で四季を感じるようになりました。

〈趣味や楽しみは?〉

昨年来家族の仲間入りをした子猫（4カ月）に癒されています。

〈村への要望は?〉

個人の対策では追いつかないので、村で害獣駆除をしていただければと思います。

編集後記

▼村民の皆さまには、日頃議会の諸活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。時の流れは速いもので、4度目の3月議会も終わり、私たちの議員としての任期も残すところわずかとなりました。今一度気持ちを引き締め、任務を全うしたいと思います。▼3月議会の大きなテーマは、次年度予算の審議です。次年度から始まる10カ年計画「第6次総合振興計画」に盛り込む取り組みを反映して、予算には様々な課題に長期的な視点で取り組む項目が盛り込まれています。ぜひ効果的な執行を期待するものです。

（唐澤克己）

発行責任者
議長 片桐 忠彦

広報部会
部会長 唐澤 克己
副部会長 壬生眞由美
部員 武田 篤子
部員 吉川 明博
部員 井原 康明
部員 平澤 恒雄